

流通とSC・私の視点

2016年10月12日

視点(2043)

日本のSCとマクロ動向(その2)!!

(流通経済編)

(流通とSC・私の視点2042より続く)

経済発展動向、技術革新(イノベーション)動向、消費性向動向、人口動態動向とSCのライフサイクルを1つの表にすると次の通りです。

	経済発展動向	技術革新動向	消費性向動向	人口動態動向	SCのライフサイクル
戦前(1945年8月以前)					
1945年	復興経済 未開発国 (1946~1950年)	産業革命以前 (1946~1950年)	プレモダン消費 (1946~1955年)	第1次人口 高増加期 (1946~1960年) 〈団塊世代〉	SCの存在 しない時代 (1946~1964年)
1950年					
1960年	高度成長経済 新興国前期 (1956~1970年)	大量生産・大量販売・大量消費経済 産業革命前期 (1951~1965年)	モダン消費前期 (1950~1970年)	人口増加期	SCの導入期 (1965~1970年)
1970年					
1980年	ICT前期 (1985~1990年) 〈情報のパーソナル化〉	産業革命後期 (1960~1985年)	モダン消費後期 (1991~1990年)	人口安定期 (1981~1995年) 〈ミレニアム世代〉	SCの成長 前期 (1971~1990年) 〈CSCの時代〉
1990年					
2000年	デフレ経済 成熟国前期 (1991~2000年)	情報化経済	ポストモダン消費 前期 (1991~2010年)	人口低増加期 (1996~2005年)	SCの成長 後期 (1991~2010年) 〈RSCの時代〉
2010年					
2020年	安定経済 成熟国後期 (2021年以降)		ニューモダン消費 (2021年以降)	人口減少・世帯増加期 (2006~2020年) 〈市場の細分化〉	SCの飽和期 (2011~2020年)
				人口・世帯減少期 (2021年以降)	SCの成熟期 (2021年以降) 〈多様化の時代〉

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六 車 秀 之